



若狭小浜大漁市2000

平成12年第5回定例会〔9月7日～21日〕概要

補正予算7件・条例5件・その他4件を可決、認定13件を継続審査、陳情5件を採択・1件を趣旨採択、意見書案5件を可決、正副議長選挙、教育委員会委員の任命に同意、人権擁護委員の推薦に同意

平成十二年第五回小浜市議会定例会が九月七日に招集され、会期を同二十一日までの十五日間と決定し、直ちに審議に入りました。

今定例会では、平成十一年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定についてなどの認定が十三件、平成十二年度小浜市一般会計補正予算(第四号)などの議案が十六件、正副議長の選挙ならびに人事案件が三件、その他陳情五件、意見書五件が上程されました。

初日の七日は、会期を決定した後、認定十三件が上程され、提案理由の説明、質疑が行われた後、決算特別委員会を設置し、委員会付託としました。(決算特別委員会の構成は別記のとおり)

次に、「平成十一年度小浜市一般会計補正予算(第四号)」など議案十五件が上程され、提案理由の説明、質疑の後、それぞれ所管の常任委員会に付託しました。引き続き各団体から提出された陳情五件についても所管の委員会に付託し、翌八日から十一日までを休会としました。

十二日・十三日の両日にあたり、十五人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。

(一般質問ハイライトは別記のとおり)
十四日から二十日までを休会とし、この間各常任委員会において委員会に付託された議案、陳情等について審査を行いました。

二十一日に本会議を再開し、はじめに認定十三件を閉会中の継続審査とした後、各常任委員長から付託議案についての審査経過、結果が報告され、委員長報告に対する質疑が行われました。その後、採決を行い、付託された議案については全て原案のとおり可決しました。

続いて、意見書案五件が上程され原案のとおり可決しました。

その後、「小浜市議会の議員の定数を定める条例の制定について」が議員提案により上程され、提案理由の説明、質疑、討論の後、採決を行い、原案のとおり可決しました。引き続き、山崎議長、山口副議長より辞職願いが提出され、許可後、直ちに選挙を行いました。その結果、杵子明議員が第三十八代議長に、山本益弘議員が第四十四代副議長に選出されました。また、杵子議員、山本議員より議会運営委員会委員の辞任願いが提出され、許可後、石橋議員、木橋議員を後任の委員に選任しました。

最後に、人事案件として「教育委員会委員の任命について」「二件」「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」一件が上程され、それぞれ任命および推薦することに同意し、今定例会に付議された事件を全て議了し、平成十二年第五回小浜市議会定例会を閉会しました。

就任のあいさつ



第38代議長
杓 子 明



第44代副議長
山 本 益 弘

この度、平成十二年九月定例会におきまして議員各位のご推挙により、議長・副議長の要職に就任させていただきました。誠に身に余る光栄と感謝しておりますとともに、二十一世紀を今、そこに迎える今日、その重責に身の引き締まる思いをいたしております。

今、わが国は景気対策、行財政改革、更には福祉問題、教育問題など、多くの課題がありますが、地方自治にとりましても地方分権一括法がこの四月から施行され、従来の形式主義や漫然とした前例の踏襲にこだわることなく、勇氣ある変革が求められています。

小浜市におきましては、市民・若狭地域が一体となって取り組んできたお陰で、ようやく「近畿自動車道敦賀線」、「小浜線電化」の工事の雄音が聞こえてまいりました。しかし、景気の低迷が続く中で、「働く場の確保」、「琵琶湖・若狭湾リゾート新線」等の交通網の整備、「上下水道」等の生活基盤の整備、「介護保険制度」導入後の施設の整備等、福祉対策の充実等々、課題が山積している状況であります。そういった中で、議会として市民の皆様の声を市政に反映すべく、より一層「開かれた議会・身近な議会」を推進してまいりたいと思っております。「二十一世紀を活気ある小浜」を目指して、更に議会が精進を重ねてまいります所存でありますので、市民の皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます、就任のごあいさつとさせていただきます。

議案および結果

議案番号	件名	提出者	審議結果
【認定】			
認定第1号	平成11年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第2号	平成11年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第3号	平成11年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第4号	平成11年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第5号	平成11年度小浜市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第6号	平成11年度小浜市老人医療特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第7号	平成11年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第8号	平成11年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第9号	平成11年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第10号	平成11年度小浜市西津東部地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第11号	平成11年度小浜市地域振興券交付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	継続審査
認定第12号	平成11年度小浜市国民宿舎事業会計決算の認定について	市長	継続審査
認定第13号	平成11年度小浜市水道事業会計決算の認定について	市長	継続審査
【議案】			
議案第89号	平成12年度小浜市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	
議案第90号	平成12年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案第91号	平成12年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案第92号	平成12年度小浜市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案第93号	平成12年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	
議案第94号	平成12年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案第95号	平成12年度小浜市国民宿舎事業会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案第96号	小浜市特別職の職員のおよび費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	
議案第97号	小浜市退職料等条例の一部を改正する条例および昭和35年3月30日以前に給付事由が発生した退職料等の年額の改定に関する条例の一部改正について	原案可決	

人 事	9 月 定 例 会 日 程
<p>● 議会運営委員会委員の辞任および選任 (辞任) 杓子明 議員 (選任) 山本益弘 議員 石橋和彦 議員 木橋正昭 議員</p> <p>● 総務常任委員会正副委員長の交代 (前) (委員長) 山本益弘 議員 (副委員長) 小堂清之 議員 (新) (委員長) 小堂清之 議員 (副委員長) 中野健一郎 議員</p> <p>● 教育委員会委員の任命に同意 食見直孝氏 (山手二丁目) 玉井和典氏 (広峰)</p> <p>● 人権擁護委員の推薦に同意 辻節子氏 (谷田部)</p>	<p>7日 本会議 会期決定、議案上程(認定)、質疑、 決算特別委員会設置および委員会 付託、決算特別委員会委員の選任、 議案(予算・条例等)上程、質疑、 委員会付託(議案・陳情)</p> <p>8日～11日 休 会 12日～13日 本会議(一般質問) 14日～20日 休 会 21日 本会議 閉会中の継続審査、常任委員長報告、 質疑、採決 意見書案上程、採決 議案(定数)上程、討論、採決 正副議長選挙、議案(人事)上程、採決</p>

議 案 お よ び 結 果	
<p>【意見書】 意見書案第4号 意見書案第5号 意見書案第6号 意見書案第7号 意見書案第8号</p>	<p>【陳情】 H11 陳情第10号 陳情第4号 陳情第5号 陳情第6号 陳情第7号 陳情第8号</p>
<p>小浜市福祉事務所設置条例の一部改正について 小浜市社会福祉法人の助成に関する条例の一部改正について 和解について 公立小浜病院組合規約の変更について 内外海漁港区域内の公有水面埋立について 財産の取得について 小浜市議会の議員の定数を定める条例の制定について 教育委員会委員の任命について 教育委員会委員の任命について 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて</p>	<p>「じん肺り患者の救済とトンネルじん肺根絶を求める」陳情書 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書 小中高等学校「30人以下学級」の推進等を求める陳情書 公務員労働者の新賃金早期決定についての陳情書 拉致された日本人救出に関する意見書提出に関する陳情書 食料・農業・農村政策に関する要請</p>
<p>議員</p>	<p>団 体 市 長 議 員</p>
<p>原案可決</p>	<p>趣旨採択 採 択 原案同意</p>

一般質問 ハイライト

9月定例会の一般質問は、9月12日・13日の両日に行われ、山本議員をはじめ、池尾、西本、石野、水尾、荒木、小堂、宮崎、清水、岡、中村、深谷、池田、岡尾、杓子の各議員が市政各般にわたり質問を行いました。

(質問と答弁の主な要旨は次のとおり)

所信表明

Q 次の二点についてお尋ねする。

①小浜像について

②職員の資質向上について

A ①心が癒されるような食のふるさとづくり、小浜の市民一人ひとりが生き甲斐を感じることで、

そういうまちづくりを目指す。このことは住む人が心安らぐ生活環境をつくる、また訪れる人の心を癒す、安らぐことのできる環境をつくるということである。小浜市がいわゆる御食国として栄えてきた歴史をもとに、豊富な海産物などの資源と食文化を活かしたまちづくりを進めていきたい。

②地方分権が実施の段階に入り、これに対応するためには優れた人材を育成し、確保することが重要課題である。職員一人ひとりの意識改革や自己啓発を進め、職員自らが事務業務の内容等を吟味し、自分が最後の決裁権者であるという自覚と責任感を持つよう指導していきたい。職員から色々なアイデアを募り、アイデア発表会の開催。また職

場研修・研修所等への派遣により、実務能力・政策企画力・対外折衝など職員の能力向上に力を注いでいきたいと考えている。

教育行政

Q 本市の教育行政についてお尋ねする。

A 心豊かで活気と生きがいを感じる小浜のまちにするために、教育の視点としてまず「まちづくりが人づくり」であるという考えに立ち、地域の食・文化・歴史等を教材とした教育をより一層推進していきたい。食べるといことは、動物・植物の命を食べていることから、食べ物に感謝する気持ちが育つものと考えている。その食べ物を作り育てる体験学習を取り入れることにより、言葉だけの教育ではなく自ら体験することによって、自然や生物に対する敬虔な心を育むことができる。また昨今、少年犯罪が多発しており、「德育」の重要性が叫ばれているなか、本市においても「心の教育」の充実に取り組んでいるところであるが、食教育の推進に

より、命の大切さ・愛情についても考えることができるものと思っている。

行財政改革と市町村合併

Q 次の二点についてお尋ねする。

①本市の財政状況および財政運営について

②市町村合併について

A ①自治体の財政運営は最小の経費で最大の公共サービスを安定的に供給することが原則であるとの認識に立って、財政警戒宣言を行った。改善の方策として、現在行っている健全化策は当然継続して行っていくべきであり、さらに行政の役割分担についても検討する。今まで市が行ってきたことをPFI・NPOなどの手法を使い、行政の効率化を図れないかをプロジェクトチームの中で検討していただきたいと考えている。歳入の確保については、核燃料税の税率の引き上げを関係機関に要望していくとともに、優良な起債の活用についても検討していく。経費を削減することだけが財政改革ではなく、将来における展望

や職員のやる気を起こさせる施策が必要であると考えている。

公約と施策

Q 市長の公約とその実現についてお尋ねする。

A ●小浜の未来を拓くために何が一番大事かを考えたとき、最も大事な基盤整備は、今津・上中間の鉄道新線であることから、まず公約の第一に掲げさせて頂いた。わが郷土若狭小浜は京阪

より、命の大切さ・愛情についても考えることができるものと思っている。